

広州2025ワールドリレーズ日本代表選手選考要項

1. 編成方針

東京2025世界陸上競技選手権大会でのメダル獲得のため戦略的に選手団を編成する。

2. 期日

2025年5月10日(土)～5月11日(日)

3. 場所

広州(中国)

4. 派遣種目

男子 4×100m リレー

※東京2025世界陸上競技選手権大会においてリレー種目は開催国枠にてエントリーが可能のため、男子4×100mリレー以外の種目は派遣しない。男子4×100mリレーは、本大会での成績により東京2025世界陸上競技選手権のリレー種目の番組編成がされるため、より優位なレーンを獲得するため派遣を行う。

5. 参考競技会

・吉岡隆徳第79回出雲陸上競技大会 YOSHIOKAスプリント

2025年4月上旬予定

※対象種目は、100m、および、200m。

6. 選考基準

編成方針に基づき、リレーの特性を考慮して以下の優先順位にて日本代表選手を選考する。

1) 参考競技会において、広州2025ワールドリレーズ候補記録*満たした上位の競技者

2) 広州2025ワールドリレーズ候補記録を満たした競技者

3) 参考競技会における成績上位競技者

※2024年8月1日～2025年4月13日に以下の記録を満たした競技者。

(記録はワールドランキング対象競技会での記録のみ対象)

室内60m：6秒61 100m：10秒17 200m：20秒46

7. 選考方法

強化委員会の選考会議にて選考原案を作成し、専務理事の承認を経て決定する。

8. 補足

(1) 種目毎の代表は、WAが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。

(2) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。

(3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。

1) アンチ・ドーピング規則に反した場合

2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合

3) 前記(2)を遵守しない場合

(4) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。

(5) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができる。

以上